

「ぼくたちにお昼ご飯おごってくれないませんか？」

にご賛同頂いた皆様へ



目頃より「ぼくたちにお昼ご飯おごってくれないませんか？」

(以下≒給食プロジェクト)にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

皆様のおかげで、給食プロジェクトを継続することができ、子供達も元気に学校に通っております。

さて、今回は、二人のインタビュー記事を通して、当プロジェクトの現状を報告させて頂き、その後に事務局からの報告をさせて頂きます。

長文になりますが何卒お付き合い下さい。

1. ソマホンから皆様へお礼のメッセージ

最初に、給食プロジェクトにご賛同頂いている皆様に対し、心から御礼申し上げます。皆様のおかげで、多くの子供達が、皆様の顔を思いうかべ、感謝しながら給食を頂いております。

ベナンで給食をやっているNGOはIFEしかございません。第一目的は初等教育の普及ですね。学校を作り、生活環境を改善するために、全国に井戸を掘りました。

そしてこの給食プロジェクト。国民の手に届いて国民の生活を改善する活動ですので、皆様のご協力は、歴史的に誇れるものです。

小学校の生徒は最初200人、300人だったところも、500人、600人と増えていったのです。“なぜたくさんの生徒が来ているの？”と聞いてみると、“給食が食べられるから”と言ったのです。子供達の家族も最初は子供を学校に行かせることが出来ないと思っていました。義務教育だけれども給食費を払うのは経済的に無理だと思ったわけです。でも給食を日本人の皆様におごって頂けると分かったから、親も喜んで子供を学校に行かせました。

どうしたら子供をちゃんと元気で学校に行かせられるか、給食がベナン全国の学校で出来るかをIFEが実践し、政府に提言しています。そして日本とアフリカ諸国がどうやったら友好関係をもっと築いていけるかを考えております。ベナンは1日も早く援助から卒業出来るように頑張っております。

IFEを応援して下さいる皆様は愛情と人間性に基づいてご支援頂いており、ベナン国民の代表として大変感謝申し上げます。今後とも給食プロジェクトのご協力を宜しく願います。皆様のご健康と幸せを心より願っております。



駐日ベナン共和国大使館
特命全権大使に就任



小学校の児童数は増えています



IFEの活動がベナン政府に認められました

2. これまでの給食プロジェクトの実施状況 ～皆様のお力により累計72万食突破～



プロジェクト履歴	日付	金額
第1回目送金	2009/5/8	¥3,660,000
第2回目送金	2009/9/24	¥2,700,000
第3回目送金	2010/4/28	¥4,340,000
第4回目送金	2010/9/15	¥1,500,000
第5回目送金	2011/2/23	¥1,550,000
第6回目送金	2011/3/23	¥2,000,000
第7回目送金	2011/4/1	¥800,000
第8回目送金	2011/9/7	¥580,000
第9回目送金	2011/10/7	¥700,000
第10回目送金	2011/12/20	¥3,100,000
第11回目送金	2012/1/4	¥500,000
第12回目送金	2012/1/31	¥1,500,000
第13回目送金	2012/4/2	¥1,360,000
第14回目送金	2012/5/1	¥740,000
第15回目送金	2012/9/28	¥1,000,000
ご寄付の総額		¥26,030,000

皆様からお預かりした**2,603万円**を**全額送金**
させて頂きました!!

今後の給食プロジェクトは、以下のような予定になっています。

ベナンの小学校では10月から新年度が始まります。この度の継続のご案内が遅くなり、大変恐縮ですが、今回のご支援は来年9月までの給食費にあてさせていただきます。
また、次回は来年（2013年）9月に更新のご案内をお送りさせていただきます。

その他、事務局では年末年始にかけて現地調査を行い、別途給食プロジェクトの状況を皆様にご案内させていただきます。

併せて、来年2月にはイベントを開催し、その中でも現地の様子をご案内させていただきます。
情報については、当団体のホームページ、またはメール等でご案内させていただきます。ホームページ (<http://npo-ife.jp/>)



< 来年(2013年)9月末までの給食プロジェクト >



< ベナンの子供たちの笑顔が原動力 >

日本時間の20時。日本と8時間の時差があるベナンでは昼休みが始まります。育ち盛りの子供達。給食を食べて、楽しく遊び、懸命に勉強している姿を毎日思い浮かべます。

一方日本では、東日本大震災という未曾有の自然災害が発生し、日本にとっても困難な時期となりました。そのような状況の中で、本プロジェクトを継続してご協力いただいている皆様の気持ちをしっかりとベナン政府やベナン国民に伝えたいと思います。

ベナンの子供の将来の為に、当事務局を信頼して浄財を託して下さっている皆様の願いは、事務局の原動力となっております。

皆様の思いをできるだけ届けるべく、IFEは一切管理費を頂かず、全額現地の子供達の給食の為に使っております。

関係するすべての方々の為に、なんとか給食プロジェクトをより良いものにするべく努力してまいります。



給食プロジェクトでは、いろいろな問題点もございます。

- 給食プロジェクトを実施している学校の生徒数の急増
- 現地バナンの物価急騰(食材、燃料、運搬費等)
- 現地通信環境の悪化による情報取得の困難
- 継続支援して頂く方の減少

以上のような問題点もございますが、事務局では不正義をなくす為、全ての子供達に給食を食べさせております。その費用は現地のIFE財団や、その他の協力者の寄付によって現在はまかなわれております。



3. 今後の給食プロジェクト

前述の懸念事項も踏まえ、事務局では最善策を検討しております。

- 現在NPO法人IFEと民間企業とで実施中のFeel Peaceプロジェクト(バナンの産業支援プロジェクト)から利益を生み出し、給食の材料等の安定的な確保を目指します。
- 年末年始、事務局スタッフが現地に行き、現地調査をしてまいります。(渡航費用等は、ご寄付いただく給食費から捻出することはございません。)
- 現地の通信環境を改善し、現地から定期的に情報収集ができる環境を整え、なるべくタイムリーな情報を皆様に提供できるように努力します。
- ホームページ、メール等を利用して、賛同者の皆様に進捗状況をお伝えいたします。
- お振込みの労力を減らすため、ご希望される方には口座自動引き落としができるよう、しくみを考えます。

長期的な事務局の願いは、ベナン政府による学校給食の実現です。

その為、皆様のご協力を頂きながら給食プロジェクトを継続し、その実績を基に、政府に有用性を根気強く訴えていきたいと考えております。

ベナン政府は義務教育を重要視し、2006年には小学校の授業料の無料化も実現させました。学校や教師不足など、多くの問題はございますが、初等教育の充実は、未来のベナンの国力に直結する問題です。実現させて、賛同者の皆様と、喜びを分かち合いたいと考えております。

ぜひとも継続支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

『現地に聞く！』 加藤氏インタビュー

給食プロジェクトの実施状況はいかがですか？

→子供や家族が大喜びなのはもちろんのこと、農家のためにもなっていますよ。

農家は都市部で農作物を安く買い叩かれて、生活が厳しいのが現状です。給食で大量に買ってくれるのは農家にとっても非常に良いことです。材料を運ぶ人、給食を作る人の雇用にもつながるので、とてもよい活動だと思います。

子供達は何を食べているのですか？好きなメニューは？

→ポリッジですね、とうもろこしの粉のお粥。あとイモですね。あと豆をトマトスープで煮たものも人気です。
美味しいので、子供達は毎日大変喜んでます。

子供達の親は給食をどう考えていますか？子供に家業をさせ、学校に行かせたくない親とかはいないですか？

→それはもう喜び以外の何物でも無いと聞いております。最近の親は子供に教育を受けさせたいと思っていますから、給食も食べられるし、学校に行かせるのは大賛成と言っていました。

プロジェクトの成果はいかがですか？給食実施前と比べてどう変わりましたか？

→まず、子供達が元気です。私が小学校に行って良いなと思ったのは、子供があいさつに来るのです。あいさつの仕方がすごく丁寧で、感激しました。礼儀作法がしっかりとした正式なあいさつです。こちらが改まるくらいです。素敵な子供達だなあと思いました。人知れない小さな小学校にきちんとした生徒がいるなど思い、嬉しくなりました。

最後に、もう一言お願いいたします。

→給食プロジェクトはまだ3年ですが、将来、給食をおごってもらった子供達がIFEの日本語学校で勉強し、日本に留学してくれたら嬉しいですね。その時、日本人は大変な苦勞をしてお金を稼ぎ、税金等で日々の生活が大変な中で給食をおごって下さったのだと気付くでしょう。

ベナン政府が早く給食の重要性に気づき、予算をつけて学校給食を実施してもらいたいです。それまで、なんとか、日本の皆様にご理解頂き、給食プロジェクトを継続して欲しいと思います。



加藤氏はIFEの別プロジェクトでベナンに滞在し、IFEの要請で給食プロジェクトの視察をして頂きました。



小学校の先生と



給食を作っています



給食室にて

継続手続きのご案内

1 お振込み

みずほ銀行 八王子支店 普通預金 1191043
特定非営利活動法人 IFE きたの基金
カナ名義 : トクヒ) IFE キタノキキン

※恐縮ですが、郵便での現金の送付はお控え下さい。
※お振込み期限を12月28日（金）とさせていただきます。

2 ご連絡

ご本人様確認をさせていただきますので、お手数ですが、メールにて、**お振込日**、**お名前**、**お振込名義**をご連絡下さい。
なお、返信が遅くなる場合もございますが、ご了承下さい。

手続き後のご連絡について

お振込みの名義だけでは、個人様を特定できない場合もございますので、お振込後にメールかFAXにてご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

領収書について

経費削減のため、領収書が必要な方のみに、事務局から領収書を発送いたします。必要な方は、ご連絡下さい。

各種変更について

初回のお申込時から住所等、変更がある場合は、メールにて変更内容をご連絡下さい。

当事務局宛のご連絡はメールでのみ受付けております。

また、事務局のメールアドレスは変更致しましたので、ご了承下さい。

旧：lunch@zomahoun.com ← 旧アドレスは使えません！ ご注意下さい！
新：lunch@npo-ife.jp

事務局はボランティアで運営しております。よって、お電話でのご連絡は申し訳ございませんが、ご了承下さいますよう、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。皆様の個人情報には責任をもって、管理しております。



特定非営利活動法人IFE

NPO法人IFE

Non-Profit Organization IFE

〒193-0931

東京都八王子市台町2丁目12番16号

E-mail : lunch@npo-ife.jp

Web : <http://npo-ife.jp>